



発行所 公益財団法人 愛媛県消防協会
松山市築山町1番35号
電話(921)8517番
編集者 事務局長
一部50円

年頭の辞



消防庁長官

岡崎 浩巳

平成二十五年の新春を迎えるに当たり、平素から地域の安心・安全を守るため、昼夜を分かたず消防防災活動にご尽力頂いております全国の消防関係者の皆様に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昭和二十三年に消防組織法が施行されて、市町村消防を原則とする我が国の「自治体消防制度」が誕生し、六十五年を迎えようとしています。この間、我が国の消防は、関係各位のたゆまぬ努力の積み重ねにより、着実に進展し、国民の安心・安全の確保に大きな役割を果たしてきました。

平成二十三年三月に発生した東日本大震災は、これまでに経験したことのない大地震と巨大津波により各地に甚大な被害をもたらすとともに、福島第一原子力発電所の事故が発生しました。また、その後も、災害は後を絶たず、昨年は竜巻や豪雨による災害に加え、ホテル火災やコンビニ施設における火災、トンネル内の爆発事故など、

様々な災害が全国各地で発生しました。

このような状況下において、国民の生命、身体及び財産を守るため、今後の大規模災害等に備えた、更なる消防防災体制の強化を図ることが喫緊の課題となっております。

このため、消防庁においては、Jアラートの自動起動機等の整備や消防救急無線のデジタル化による災害に強い消防防災通信基盤の強化、消防

団の充実強化や安全対策の推進、緊急消防援助隊の充実と即応体制の強化を図ってまいります。

このほか、ホテル・旅館等における、立入検査及び違反処理の推進や新たな表示制度等を含めた火災予防対策、福島第一原子力発電所の避難指示区域における管轄消防機関の支援や原子力災害に係る地域防災計画の策定支援などに取り組んでまいります。

皆様方におかれましても、我が国の消防防災・危機管理体制の更なる発展と、国民が安心して暮らせる安全な地域づくりのために、より一層のご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

皆様のますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭の辞



愛媛県知事

中村 時広

平成二十五年の新春を迎え、県内の消防関係者の皆様へ、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より、地域防災の中核的

存在として、住民の尊い生命と貴重な財産を守るため、日夜献身的に活動されており、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、今年、市町村消防

平成24年度全国統一防火標語
消すまでは
出ない行かない
離れない

を原則とする自治体消防が発足してから六十五周年の節目に当たります。

この間、我が国の消防は、皆様方のたゆまぬ御努力の積み重ねにより、体制、技術と着実な発展を遂げ、火災予防をはじめ、救急救助から自然災害等への対応といった、地域住民の安全・安心の確保に極めて重要な役割を果たして参りました。

しかしながら、東日本大震災や福島第一原発事故、頻発する集中豪雨など、災害の様相が大規模化・多様化し、消防行政を取り巻く状況は大きく変化しております。また、昨年、国が発表した南海トラフの巨大地震にともなう被害想定により、最悪の場合、県内の震度は七、伊

新年のご挨拶



財団法人 日本消防協会

会長 秋本 敏文

平成二十五年の輝かしい新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

全国の消防団員、消防職員の皆様が、地域の安心・安全を守るため、日夜献身的なご尽力をされていることに対し、心から敬意を表し、深く

方町で二十一メートルの津波が押し寄せ、県全体で一万二千人も死亡するという甚大な被害が見込まれています。

このような中、県におきましては、「減災」と「津波災害対策」をポイントに地域防災計画を修正したところであり、今後は、六月を目途に県独自に取りまとめる詳細な地震被害想定調査を基に、南海トラフ巨大地震等の大規模災害への対応に万全を期して参りたいと考えておりますので、皆様方の一層の御理解、御協力をお願い申し上げます。

終わりに、公益財団法人愛媛県消防協会のますますの御発展と、皆様方の今年一年の御健勝、御活躍を心からお祈りいたします。

東日本大震災以来、各地で大規模な地震発生が切迫性が指摘されております。また、昨年は九州北部や日本各地で豪雨による大きな被害が生じました。まさに日本中、いつでも、どこでも、あらゆる災害が起こり得るという覚悟をしなければならない状況になりました。その中で国民の大きな願いである安心・安全を確保するためには、常備消防・消防団を問わず全ての消防関係者が一致協力して、消防防災の使命達成にさらに邁進しなければなりません。また、地域においては、消防団が中心となって婦人防火ク

感謝申し上げます。

一昨年三月、東日本大震災が発生しました。巨大な津波などで極めて大きな被害が生ずる中、消防は発災直後から目覚ましい活動を行い、国民の皆さんから高く評価され、感謝されました。しかしなが

- 各種消防設備保守点検
- 24時間体制ビル設備監視システム
- 火災通報装置工事保守点検
- 各種消防設備設計・施工
- 各種消火器簡易消火設備販売
- その他各種防災用品非常食販売

安心!

ご相談・ご用命は...

(株) 四国消防

〒790-0952 松山市朝生田町1丁目7番21号
電話(089)934-4800
FAX(089)934-5533

ら一方で、未だかつてない多くの方々が殉職されました。正に痛恨の極みであり、このようなことは決して繰り返してはならないと強く感じます。

東日本大震災以来、各地で大規模な地震発生が切迫性が指摘されております。また、昨年は九州北部や日本各地で豪雨による大きな被害が生じました。まさに日本中、いつでも、どこでも、あらゆる災害が起こり得るという覚悟をしなければならない状況になりました。その中で国民の大きな願いである安心・安全を確保するためには、常備消防・消防団を問わず全ての消防関係者が一致協力して、消防防災の使命達成にさらに邁進しなければなりません。また、地域においては、消防団が中心となって婦人防火ク

今年、自治体消防六十五周年の年です。また、明治二十七年の消防組規則制定によって、現在の消防団の前身である消防組が全国的にスタートして以来、百二十年を迎えます。そこで、十一月二十五日(月)、全国消防長会とともに消防庁など関係機関のご支援を頂き、東京ドームで消防団

ラブ、企業、各種団体、さらには自主防災組織などを含む一般の皆さんと一体となった総合的な防災力を強化する必要があります。こうした動きの中で、消防に対する国民の期待はますます大きくなり、その役割もさらに重要なものになると思っております。日本消防協会では、安全対策を含む装備や処遇の改善等消防団の活動環境の整備や団員確保対策に引き続き全力を傾注して参ります。

最後に、全国の消防関係の皆様がますますご健健で、地域の安心安全と郷土の発展のため、一層のご活躍をいただきますよう衷心よりお祈りして、年頭のご挨拶といたします。

最後に、全国の消防関係の皆様がますますご健健で、地域の安心安全と郷土の発展のため、一層のご活躍をいただきますよう衷心よりお祈りして、年頭のご挨拶といたします。

平成24年度 消防団正副団長等 研修会開催



年頭の辞

公益財団法人
愛媛県消防協会

会長 寺坂 末吉

平成二十五年の輝かしい新春を迎え、消防関係者の皆様と、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、皆様にとりまして新しい年が実り多い年でありますよう祈念申し上げます。

愛媛県の消防団員・職員の皆様には、常日頃防災の最前線にあつて、昼夜の別なくあらゆる災害から地域住民の生命財産の生命身体財産の保護のために、献身的に職務を精励していただいておりますこと

対しまして、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。さて、平成二十四年を顧みますと、県下においては大きな被害を被った災害は少ない年でありましたが、国内外では、多数の災害が発生しているところでもあります。

今年、消防団百二十年・自治体消防発足六十五周年の記念大会が十一月に東京ドームで開催されます。この大会は、消防関係者のご協力のもと、日本消防がさらなる充実発展をとげる契機になるものと思っております。

消防協会といたしまして、消防関係者、県民の負託

大雨をもたらした、更には七月の九州地方を襲った集中豪雨では、甚大な人的被害が発生し、異常気象ともいえる災害の発生が後を絶ちません。災害が大規模化するればするほど、防災に対する地域住民の消防に寄せる期待はますます高まっており、住民の負託に

に思えらるるよう更に日々精進して参りますので、何卒旧に倍してのご指導、ご鞭撻を賜りま



平成二十四年十一月二十五日(日)午後一時から松山市内のホテルにおいて、愛媛県消防協会主催による消防団正副団長等研修会を開催しました。

研修会には、県内の消防団長・消防長ほか百七名が参加

し、寺坂末吉協会長の開催あいさつに続き、川崎市消防防災指導公社事務局長の中村敏一様を講師に迎え「図上訓練体験研修 ～実践的な災害対応力の強化～」と題して講演

域の地図を広げての図上訓練(DIG)で「防災意識を掘り返す」、「地域を深求する」、「災害を理解する」を体験

し、自分自身の手や頭を動かして考え、



平成25年出初式・観閲式日程表(予定)

日付	時間	市・町	場所
1月12日(土)	10:00	砥部町	陶街道ゆとり公園多目的広場 砥部町中央公民館講堂
1月13日(日)	10:10	松前町	松前公園多目的広場 松前公園体育館
1月20日(日)	9:30 10:00	伊予市	伊予市長沢グラウンド なかやま農業総合センター
1月27日(日)	9:00 10:00	四国中央市	伊予三島運動公園多目的グラウンド 伊予三島運動公園体育館
1月27日(日)	10:15	上島町	弓削小学校グラウンド 弓削体育館
1月27日(日)	10:00 10:30	松山市	松山市堀之内(堀之内城山公園) 松山市役所11階大会議室
1月27日(日)	9:00	鬼北町	鬼北総合公園グラウンド 鬼北総合公園体育館
1月27日(日)	9:30 10:30	愛南町	南レク城辺公園多目的広場 愛南町御注文化センター
2月3日(日)	9:00	西予市	西予市宇和運動公園多目的広場 西予市宇和体育館
2月10日(日)	9:00 9:30	松野町	松野中学校グラウンド 松野町多目的広場
2月17日(日)	9:30 10:30	内子町	内子町運動公園グラウンド 共生館(五十崎自治センター)
2月24日(日)	9:00 10:00	宇和島市	宇和島市総合体育館駐車場 宇和島市総合体育館
3月3日(日)	9:00 10:30	新居浜市	山根市民グラウンド 新居浜市民文化センター
3月3日(日)	9:00	東温市	東温市総合公園 東温市ツインドーム重信
3月3日(日)	9:30	久万高原町	久万公園グラウンド 久万海洋センター体育館
3月3日(日)	9:30 10:30	大洲市	五郎大橋上流河川敷グラウンド 大洲市民会館
3月10日(日)	9:00 10:00	今治市	玉川総合公園運動場多目的広場 玉川総合公園運動場多目的体育館
3月10日(日)	9:30 10:00	八幡浜市	保内中学校グラウンド 保内中学校体育館
3月17日(日)	9:00 10:00	西条市	西条市加茂川河川敷 西条市総合文化会館
3月17日(日)	10:00	伊方町	伊方中学校グラウンド 伊方スポーツセンター

通常の講義形式よりも理解が深まりました。続いて、日本消防協会年金共済部の木村昌明様及び愛媛県消防協会の會所恵子が「消防団員のための各種共済事業について」と題し、実例をあげて講話をおこないました。

～災害に強いまちづくりをお手伝いします～

家庭用からプロ使用まで
消防・防災の専門商社

ニーズを先取りする
ジェットホース
操法大会最適ホース
コンベVシリーズ

MORITA
SUPER GYRO LADDER

ラビット可搬消防ポンプ Fiシリーズ Rabbit

Fi series Fi8000

- 消防ポンプ自動車
- 小型動力ポンプ
- 消防ホース
- 消防被服
- 防災・救助機器
- 消火器・消火装置
- 避難用品
- 自主防災・企業防災用品

(株) 岩本商会
〒790-0067 松山市大手町1丁目10番地1
TEL089(947)2111・FAX089(947)2116
高松支店/宇和島営業所/姫原倉庫
http://www.iwamotosyukai.co.jp

シバウラ
空冷業界唯一
空冷式消防ポンプ

SHIBAURA
楽々操作が自慢の
「自動吸水タイプ」にFiを装備!

B-2級46kW **SF756AZi**
B-3級43kW **SF656AZi**
B-3級34kW **SF651AZi**

シバウラ消防ポンプ愛媛県総代理店
(有) 愛媛芝浦ポンプ商会
TEL 089-933-6355 FAX 089-933-9550
〒790-0911 松山市桑原2丁目3番19号

水冷初
ラジエター搭載
水冷Fi式消防ポンプ

操法で活躍!!

B-2級46kW **SF756ZXi**
B-3級43kW **SF656ZXi**

女性消防強化対策研修会

東予支部

平成二十四年度東予支部女性消防強化対策研修会を、平成二十四年十一月八日(木)に四国中央市福祉会館において開催しました。研修会には、愛媛県消防協会長をはじめ、東予地区女性消防団員・男性消防団員・消防関係者約七十名が参加しました。

講師に、消防団員確保アドバイザーとして全国各地でご活躍されておられる、元野洲市消防団の山本きぬ江様をお迎えし、「これからの女性消防団の活躍」と題してご講演いただきました。

女性消防団員として活動するなかで、男女間の交流不足



問題に直面された際には、全国女性消防団員活性化大会での火災予防寸劇発表を契機に問題を打開されたほか、副団長という立場で培われてきた運営上の工夫など、今後の活動の飛躍に向けた取組み方についてご教授いただきました。

今回の研修会を通じて、近年の消防団が様々な課題と直面するなか、幅広い視点から地域住民のニーズを拾い上げることのできる女性消防団員の育成は必要不可欠であり、今後も継続して情報交換を行うことで、消防団活動の更なる充実強化、活性化の推進を図ることが重要であると痛感しました。

中予支部

中予支部では、消防防災活動の一層の推進を図るため、女性消防団員を育成し、消防団活動の充実をめぐることも、情報交換を行い、時代及び住民のニーズに適応する消防団組織の確立を目的に、毎年、女性消防強化対策研修会を実施しております。

今年度は、十一月四日(日)に、伊予市消防団・消防署のご協力のもと、近い将来、発生が予想される南海トラフ巨大地震等に備え、地域における課題の発見や災害対応を検討するための防災図上訓練をウエルビア伊予で実施しました。

終わりに、この研修会の開催にあたり、開催地であります四国中央市の皆様には、この場をお借りして御礼申上げ、今後益々の東予支部発展と協力的体制の充実を祈願いたします。

「防災図上訓練」といえば、コントロールから付与される、さまざまな状況に、プレイヤーが対応していくといった、難しい訓練に思われますが、今回は財団法人消防科学総合センター防災図上訓練指導員を講師に迎え、参加者全員が「わいわい、がやがや」と語りながら、被害が発生すると予想される地域や避難場所等を確認し、発災時どのような対応するかを話し合うといった、訓練内容で実施しました。参加した女性団員からも「大変解りやすく、地域の自主防災組織等でも図上訓練を行い、日頃からの防災意識の高揚に努めたい」といった意見もあり、成果のある研修会となりました。



平成二十四年度 第十二回 全国中学生 「防火防災に関する作文」コンクール

全日本消防人共済会及び日本消防協会では、平成二十四年度も全国の中学生を対象として、防火防災に関する作文コンクールを実施しました。

愛媛県から応募した、宇和島市立城北中学校の上甲君の作品が優秀賞を受賞しました。

優秀賞

私の地域の守り神 消防団

愛媛県宇和島市立城北中学校 二年 上 甲 君

私の父は地域の消防団に所属して活動しています。小さな頃、そんな父の姿を目にして、なぜだかうれしかったことをおぼえています。

八年前、私の家は台風被害に遭いました。強風で電柱が屋根に倒れてきたのです。その時に居た私は、何が起ったのかよく分かりませんでした。私は、ものすごい衝撃と恐怖におびえていました。その衝撃で、瓦が割れ、家の中に水が滝のように流れ込んできました。そして、お

母さんとお父さんに連絡が入ると、すぐに消防団の人たちが駆け付けてくれました。台風の中、ビニールシートを張ったり、土のうを積んだりして、家の応急処置をしてもらい、その場をしのぐことができました。恐怖心でいっぱいだった私たちに「大丈夫だよ」と声を掛けてくれたことを今でも忘れられません。この言葉が、その時私の心を救ってくれました。台風被害からだけでなく、被害に遭った私たちの心まで救っ

てくれたのだなあと思いました。また、それ以外にも、地域のためにまだまだたくさん活動をしてもらっています。私たちの地域は、高齢者の一人暮らしが多く、「地域の災害は怖い」という声をよく聞きます。そんな中、先日、大雨が降った時のことです。その日の雨は、父が消防団に入ってから、一番の豪雨だったと思います。河川の氾濫や床上床下浸水、橋の崩落などがありました。災害がひどくなることも、消防団の数も

増え、作業も慌ただしくなりました。みんなで土のうを作って氾濫を防いだり、近くの高齢者に声を掛けて、避難を呼びかけたり団員の皆さんが活動してくれました。消防団の皆さんのチームワークの良さ、団員としての意欲的な活動に驚いていたことをおぼえています。

また、昨年の東北の震災での消防団員の人たちの活動にたくさん学びました。地域の救援のために、命を落とす姿も目にしました。日本全国の消防団の団員の人たちは、自分の命とともに地域の方の生命と財産を守り続けていると母からも聞いています。私たちの知らない所で訓練を行ったり、地域の安全のために見回りをしたりしてくれています。

れしさを感じていた小さな私。今でもその思いが変わりはありません。ですが、そのうれしさは昔の頃とは違ううれしさです。地域を守り皆の生命を守る父の姿がうれしいのです。そんな父を尊敬し誇りに思います。

「消防服に袖を通す」ということへの責任感には分りませんが、父だけでなく消防団員の方たちに感謝したいと思えます。そして安心して住めるように、私たちの生活を支えてもらっていることを忘れずにいたいと思います。



<http://www.ogawa-pump.co.jp>
OGAWA 仕様 消防ポンプ自動車 (Made In 愛媛)

豊富な収納力が1台2役分の活躍を。
多くの資器材を積み込みながらも、初期消火に力を発揮する水槽を搭載。
コンパクトにまとめた CD-1

小川ポンプ工業株式会社 愛媛支社
〒790-0045 松山市余戸中6丁目9番52号
TEL:089-972-2392 FAX:089-972-2400
E-mail: ehime@ogawa-pump.co.jp

平成二十四年度

日本消防協会定例表彰決定

財団法人 日本消防協会

(財)日本消防協会は、平成二十四年度定例表彰を決定しました。愛媛県の受賞団体及び個人は、次の方々です。なお、表彰式は来たる平成二十五年二月二十六日(火)、日本消防会館において執り行われます。

◎表彰旗(優良消防団)

◎表彰旗(優良婦人消防隊)

◎功績章

- 久万高原町消防団 岡田 吉弘
大洲市消防団 立野 好仁
八幡浜市消防団 大程 久壽男
西予市消防団 城頭 正
宇和島市消防団 武田 拓夫
分団長 下田 健治
副団長 正木 健三

◎功績章

- 西条市消防団 篠原 國好
今治市消防団 高橋 修次
松山市消防団 大西 宗一
上高町消防団 安部 修
副団長 丹下 修
分団長 越智 要

◎功績章

- 松山市消防団 石橋 秀通
松山市消防団 宮野 直次
分団長 仙波 直積
副団長 越智 慎吾
東温市消防団 菅能 英樹
伊予市消防団 岩井 辰男
分団長 入船 和晃

◎功績章

- 西条市消防団 萬籬 裕
新居浜市消防団 高橋 博
分団長 伊藤 博
副団長 篠原 博文
八幡浜市消防団 水沼 茂樹

◎功績章

- 松山市消防団 松本 秀三
松山市消防団 石橋 秀通
分団長 佐藤 直次
副団長 山崎 雅彦

◎功績章

- 西条市消防団 松本 秀三
西条市消防団 石橋 秀通
分団長 佐藤 直次
副団長 山崎 雅彦

◎功績章

- 西条市消防団 松本 秀三
西条市消防団 石橋 秀通
分団長 佐藤 直次
副団長 山崎 雅彦

◎功績章

- 西条市消防団 松本 秀三
西条市消防団 石橋 秀通
分団長 佐藤 直次
副団長 山崎 雅彦

◎功績章

- 西条市消防団 松本 秀三
西条市消防団 石橋 秀通
分団長 佐藤 直次
副団長 山崎 雅彦

ポンプ操法最強コンビ!
トーハツ VCPROII
キンバイスーパーランナーホース
株式会社 ヤマダ
1910年創業
TOHATSU NIKKI テイセン YAMATO ROTEC

表彰決定者リスト
大洲市消防団 菊池 保彦
八幡浜市消防団 久保 一義
宇和島市消防団 宇都宮 義政
松前町消防団 西村 幸三
伊予市消防団 岩井 辰男
東温市消防団 菅能 英樹
西予市消防団 岩井 辰男
分団長 入船 和晃
副団長 村上千代